

光学天文連絡会会報 No.1

1980年12月10日

光学天文連絡会事務局(京大理)発行

## 1 光学天文連絡会

## 1.1 会則

定義 本会は、光学・赤外天文学に関心のある研究者の自主的組織である。

事業 本会は、光学・赤外天文学の発展を目的として、そのために必要な各種計画の推進、研究会の主催等を行なう。

会員 会員は、個人加入とする。  
会員は、会の目的に賛同し、会費を納入する。

本会は、会員の総会をもつ。

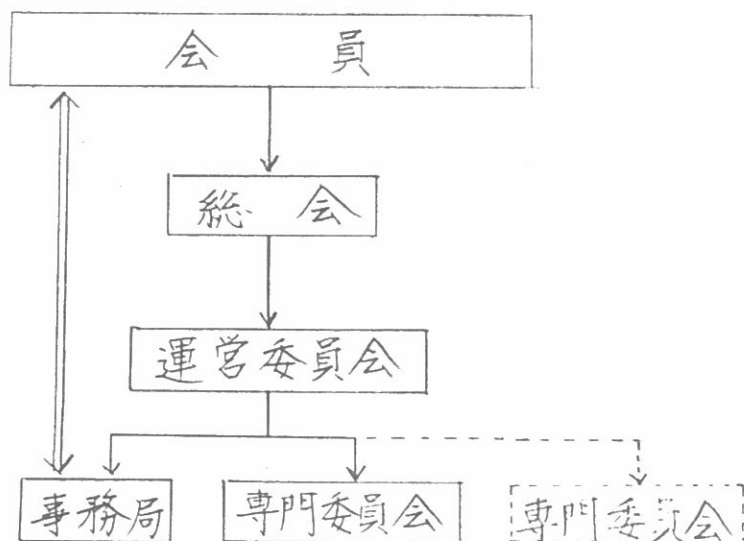
運営 会員の互選により、運営委員を選出する。  
運営委員会の委員長は、本会を代表する。  
運営委員の任期は、1年とする。

専門委 運営委員会は、若干の専門委員会をおき、委員を指名する。

事務局 運営委員会は、事務局をおく。  
事務局は、会報を発行し、会員事務を行なう。

発足 昭和55年12月1日

## 1.2 会の構成



## 1.3 事務局

1980年12月1日 - 1982年3月31日まで事務局を  
京都大学理学部におく。

### 事務局員

小暮智一	(宇宙物理学教室)	
佐藤修二	(物理第2教室)	事務連絡
市川隆	(宇宙物理学教室)	事務連絡
岩崎恭輔	(花山天文台)	会計
仲野誠	(宇宙物理学教室)	庶務

9

## 2. 光学天文連絡会の発足の経過と課題

日本の天文学将来計画の中で、現在、次期地上望遠鏡の建設が中心課題となっております。

また、今後の日本の天文学を考える上で、望遠鏡そのものの計画とともに、将来に向けての体制、国際協力等を築いてゆくことの重要性が高まっています。1980年10月3,4日、京都で開かれた『第1回望遠鏡将来計画シンポジウム』で、従来の各大学間の枠を越えて、全国の光学(赤外を含む)研究者、技術者の組織の必要性が訴えられ、多くの人々の賛同を得ました。そして、その組織の結成準備のための世話人が選ばれ、その後、教回における討論会、世話人会の結果、12月1日、発足に漕ぎつけました。

第1回(10/3,4)、第2回(12/1,2)のシンポジウムを通じて、国内あるいは国外の次期望遠鏡設置が訴えられると同時に、我々自身が解決しなければならない問題が数多く指摘されました。例えば、◎国内、国外とも、

今後 10 ないし 20 年の天文学の発展を考えたときに、それに見合った望遠鏡、装置等はどうのような大きさ、種類のものか？また、その建設の順序はどうあるべきか？◎大型装置を支える体制作り、将来の共同利用研究所への移行をいかにすべきか？◎現在の我々の技術の評価、今後の技術レベルの向上、メンバーの育成 ◎国際協力推進のための体制 ◎10年後、競合するであろう地分野（電波天文学等）、あるいは NGT (Next Generation Telescope) 等々が課題として挙げられました。

以上のような課題はいづれもが専門的な検討を必要とし、その上で、全体として、一つの論文にまとめあげる作業が要求されるでしょう。今回、発足したばかりの光学天文連絡会は、計画の立案、遂行に中心的な役割を果しうるように努力を傾けたいと考えます。

### 3 入会手続

本会に入会を希望される方は、添付の振替用紙か又は郵便局にある用紙の通信欄に「氏名」「所属」(大学・学部、会社部課)「連絡先住所」「連絡先電話番号」を書いて発送ください。ハガキで申し込まれても結構ですが、会費納入は郵便局の振替を御利用ください。会費は1年間(4月から翌年の3月まで、ただし初期は、1980年12月1日より1982年3月まで)1000円です。会費は主に通信費に用います。会員の方には会報を通じて会の運営の状況、運営委員会や専門委員会での議論の内容やシンポジウム等の案内をお知らせいたします。

郵便振替口座 口座番号 京都 17558  
加入者名 光学天文連絡会

事務局

606 京都市左京区北白川

京都大学理学部 宇宙物理学教室

光学天文連絡会事務局 市川 隆

#### 4. 運営委員 選挙日程

第1回選挙の被選挙権は、1月末現在の会員にあるものとします。(1月末現在の名簿は追ってお送りする予定です。) 運営委員の任期は1980年5月より1981年4月までです。選挙日程は下記のとおりです。

##### 選挙日程

2月中旬	選挙公示
3月中旬	投票締切り
3月末	結果公表
5月1日	新運営委員会 発足
5月中旬	総会(春季年会中)

選挙の細かな方法については、1981年1月6日の暫定運営委員会で決定し、投票用紙と共にお送りいたします。

#### 5. 暫定運営委員会メモ(第1回)

日時 昭和55年12月2日(火)午後5:30~6:30  
場所 東京私学会館  
出席者 石田<sup>(徳)</sup>小暮 田村 兼吉 辻 磯部 西村  
奥田 小平 佐藤<sup>(修)</sup> 石井 佐々木<sup>(敏)</sup>

- 運営委員長として石田蕙一を選んだ。
- 今回のシンポジウムの報告を小暮委員が会報に書く。オ2回会報。
- 発足趣意書ならびに選挙日程を会報一号に載せる。
- 56年1月6日にオ2回暫定運営委員会を開く。

議題：専門委員会設置について

当面の活動について

選挙細則

その他